

証券コード：6748

# SEIWA

創意 ⊕ 革新

モノづくりの原点を見つめ、これから変わるもの変わらぬもの。

## 2021年12月期 第2四半期

2021年8月6日

# 決算補足資料

星和電機株式会社

# 決算期変更について

2020年12月期（前期）より決算期（事業年度の末日）を3月31日→12月31日に変更  
※決算期が12月31日以外の連結子会社も変更

## 前年同一期間について

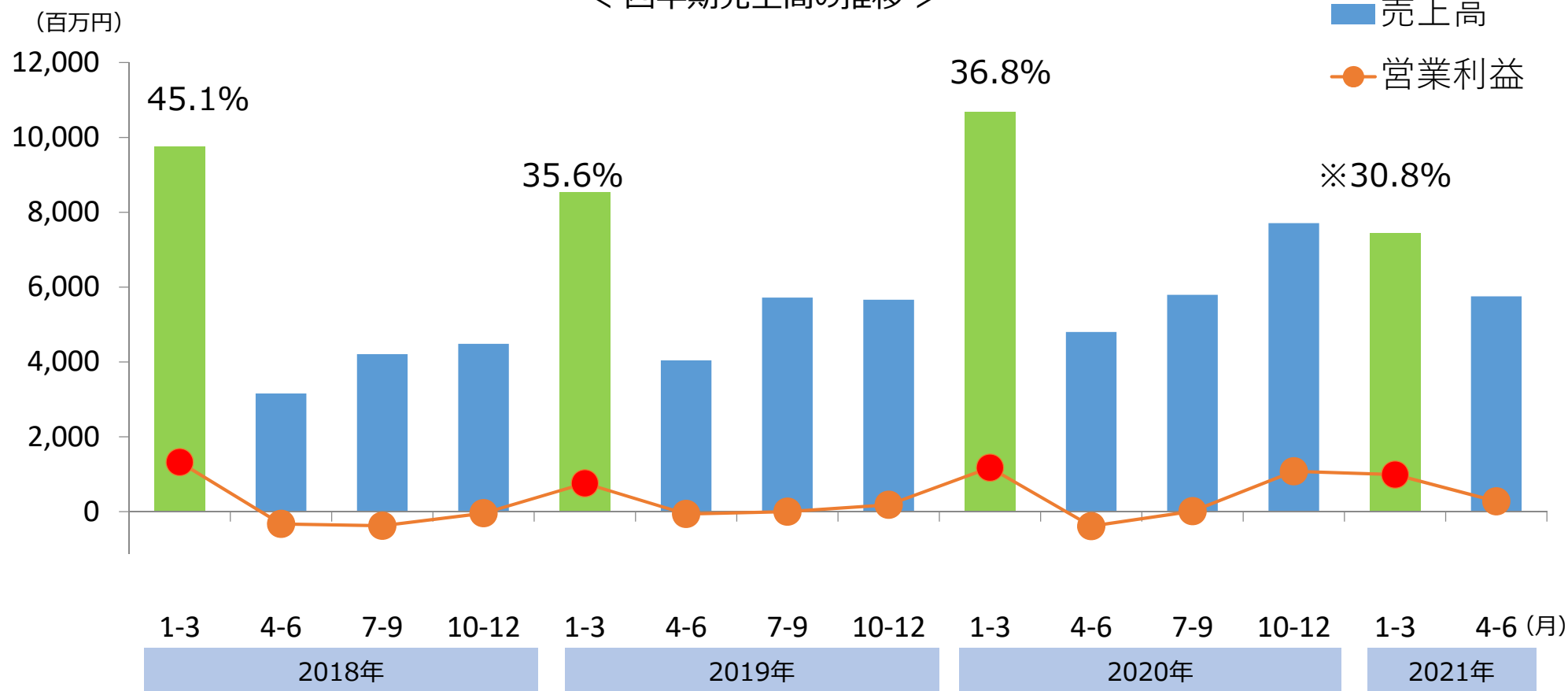
本資料上で同一期間と比較するために、前年の実績を12か月に組み替えております。  
実績を加減算したもので、決算特有の処理については考慮しておりません。

	前年同一期間	当期
第1四半期	2020年1月1日～2020年3月31日	2021年1月1日～2021年3月31日
第2四半期	2020年1月1日～2020年6月30日	2021年1月1日～2021年6月30日
第3四半期	2020年1月1日～2020年9月30日	2021年1月1日～2021年9月30日
通期	2020年1月1日～2020年12月31日	2021年1月1日～2021年12月31日

# 売上高及び利益の季節変動

- 官公庁関連組織向けの納入時期が1月から3月までに集中するため、1月から3月までの売上高及び利益が高くなる傾向がある

＜ 四半期売上高の推移 ＞



1月～3月の年間売上高に占める比率

2018年～2020年 1月1日～12月31日の連結売上高に対する比率  
 ※2021年 連結売上高予想値(24,200百万円)に対する比率

■ 売上高 前年同一期間より14.7%減少

減少：公共設備関連の道路情報表示システムおよびトンネル照明器具、民間設備関連の産業用照明器具

■ 利益 前年同一期間より改善

照明機器事業は減益だが、情報機器事業及びコンポーネント事業は増益

(単位：百万円)

	前年同一期間 2020年1月-6月	2021年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	15,466	13,197	△2,268	△14.7
売上総利益	2,875	3,155	280	9.8
販管費	2,090	1,892	△197	△9.5
営業利益	785	1,263	478	60.9
経常利益	776	1,252	476	61.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	620	844	223	36.0
自己資本当期純利益率(%)	5.8	6.8	1.0PT	—
総資産経常利益率(%)	2.8	4.7	1.8PT	—
売上高営業利益率(%)	5.1	9.6	4.5PT	—

(官需比率)

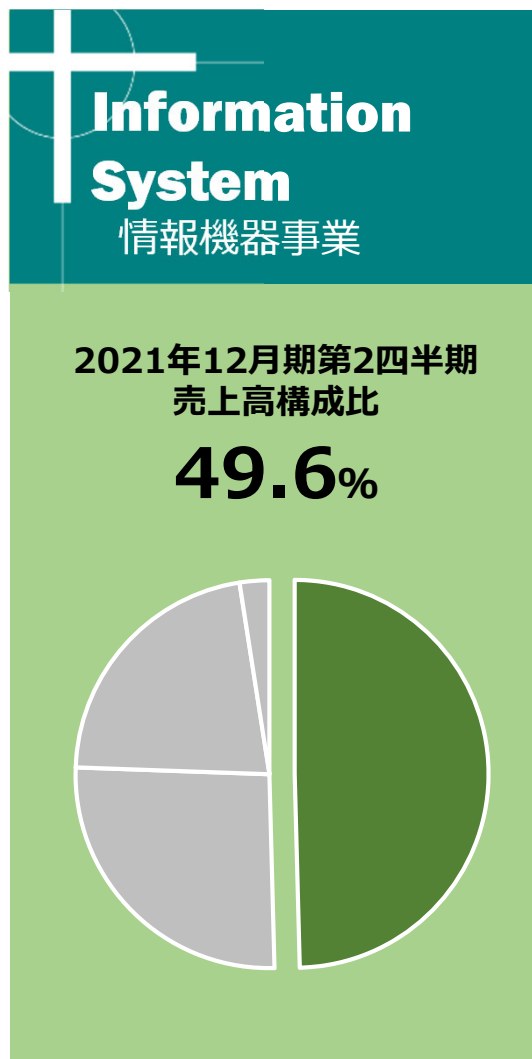
63%

57%

# セグメント別の状況 ①情報機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



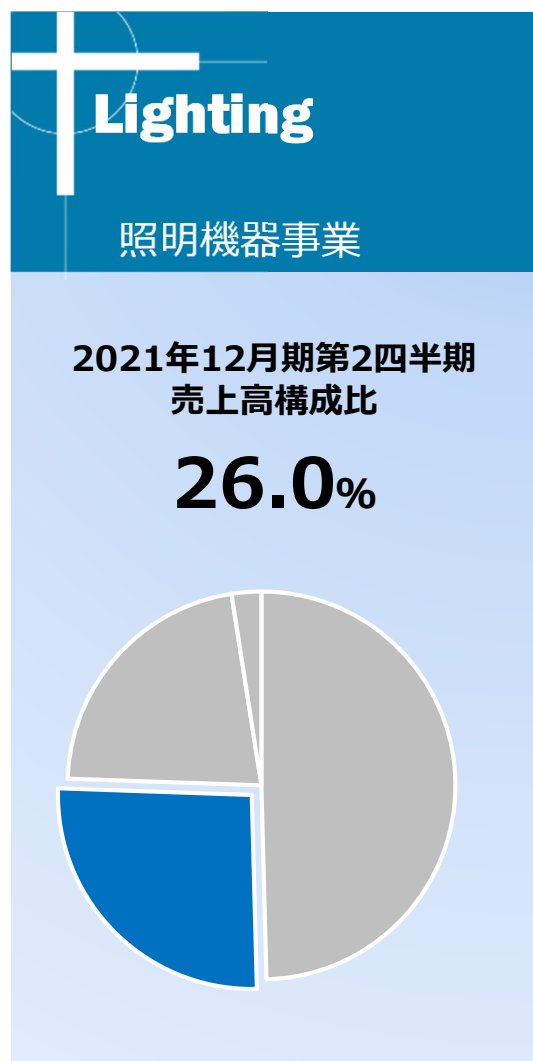
	前年同一期間 2020年1月-6月	2021年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	7,759	6,542	△1,217	△15.7
セグメント利益	905	1,227	322	35.7
受注高	7,902	1,868	△6,034	△76.4
受注残高	11,203	7,293	△3,909	△34.9

- (売上高) 高速道路向けが4～6月は順調に推移したものの、1～3月の大幅な減少により、減収
- (利益) 計画的な生産による原価低減や経費節減により増益
- (受注) 期中の受注高及び受注残高は大幅に減少
- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はほぼ無し

# セグメント別の状況 ②照明機器事業

SEIWA

(単位：百万円)



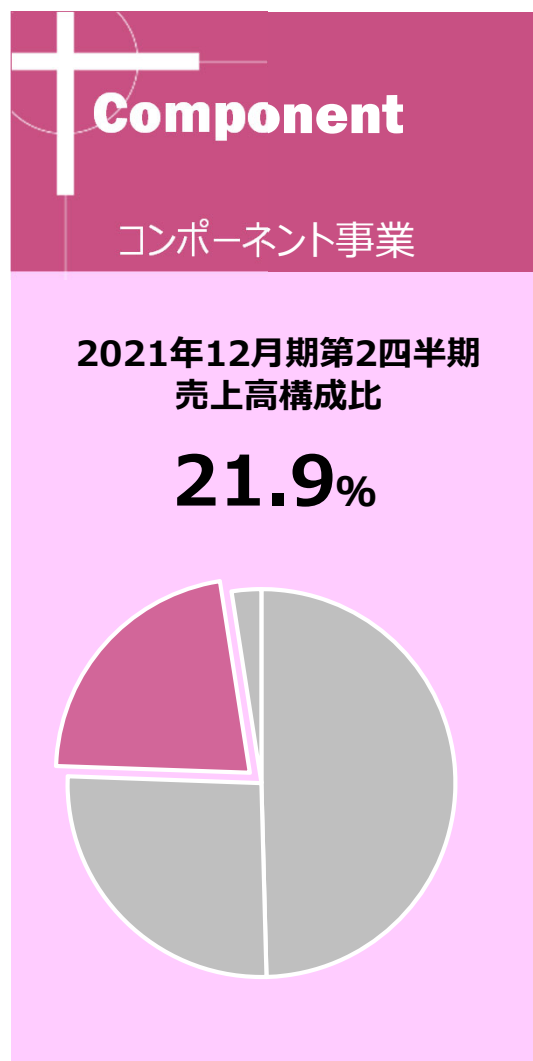
	前年同一期間 2020年1月-6月	2021年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	4,693	3,428	△1,265	△27.0
セグメント利益	375	302	△72	△19.4
受注高	3,774	3,822	48	1.3
受注残高	1,645	2,199	554	33.7

- (売上高) 産業用照明器具は定修工事の小規模化や延期などにより減少  
公共設備関連はトンネル照明器具が大幅に減少
- (利益) 減収による減益
- (受注) 受注高は前年同一期間と同水準
- 新型コロナウイルス感染症の影響あり  
定修工事の小規模化や延期などにより産業用照明器具に影響あり

# セグメント別の状況 ③コンポーネント事業

SEIWA

(単位：百万円)



	前年同一期間 2020年1月-6月	2021年12月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	2,653	2,899	245	9.3
セグメント利益	252	401	149	59.2
受注高	2,689	3,354	664	24.7
受注残高	240	704	463	192.5

- (売上高) 産業用の配線保護機材は前年同一期間並み  
配管保護機材、電磁波環境対策部品は増加、
- (利益) 増収により増益
- (受注) 期中の受注高の増加により、受注残高が増加
- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はほぼ無し

(単位：百万円)

	2020年12月期 期末	2021年12月期 第2四半期末	増減
資産	27,391	25,597	△1,793
流動資産	19,676	17,393	△2,282
受取手形及び売掛金	11,660	8,857	△2,802
固定資産	7,714	8,203	488
負債	15,340	12,669	△2,670
流動負債	13,970	11,347	△2,623
短期借入金	6,300	3,500	△2,800
固定負債	1,369	1,322	△47
純資産	12,050	12,927	876
利益剰余金	3,431	4,144	712
非支配株主持分	23	25	1
総資産	27,391	25,597	△1,793
<自己資本比率>	43.9%	50.4%	6.5PT

## 主な増減理由

- (資産) 回収による売掛債権の減少
- (負債) 借入金の返済による短期借入金等の減少
- (純資産) 親会社株主に帰属する四半期利益の計上による利益剰余金の増加



# 2021年12月期業績見通し

SEIWA

2021年2月8日に公表した業績予想からの修正：**無し**

## 第2四半期業績予想値との差異について

売上高：第2四半期は当初予想値より6.4%増で、概ね計画通り

利益：第2四半期の利益は、全事業において経費節減に努めた結果、当初予想より大幅増益

(単位：百万円)

	第2四半期予想値	第2四半期実績値	増減額 (増減率)	通期予想値
売上高	12,400	13,197	797 (6.4%)	24,200
営業利益	500	1,263	763 (152.7%)	900
経常利益	480	1,252	772 (161.0%)	850
親会社株主に帰属する 四半期純利益	400	844	444 (111.0%)	650

## 通期業績予想値について

売上高および利益：情報機器事業の受注高、受注残高が前年同一期間より大幅減であり、半導体や樹脂材料の供給不足など多様なリスク要因が顕在化している。

通期業績予想について慎重に見極める必要があることから、売上高および利益について現時点での予想修正は無し。

- (設備投資) 10m法電波暗室、器具備品や照明器具、樹脂成形品の金型等
- (研究開発) 「省エネルギー」と「人と環境を考えたものづくり」  
キーワードは「環境配慮」

(単位：百万円)

	2020年 1月-6月	2021年12月期 第2四半期 1月-6月	増減	2020年 1月-12月	2021年12月期 通期 1月-12月 予想	増減
設備投資	231	532	301	522	700	177
減価償却費	278	296	18	574	600	25
研究開発費	239	197	△41	430	500	69

# 星和電機株式会社

TEL: 0774-55-8181

FAX: 0774-58-2034

E-mail: info@seiwa.co.jp

<https://www.seiwa.co.jp>

当資料には、2021年8月6日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関するリスクや不確定要素により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多く、今後想定外の状況となった場合には将来の業績に影響を与える可能性があります。